

ゆうゆう通信

令和元年6月7日発行 第30号

発行 飯田市立病院介護老人保健施設
ゆうゆう 広報委員会
〒395-8503 飯田市上郷黒田341
電話 53-6048 FAX 53-6047



令和にゆうゆうが果たす役割
ゆうゆう施設長・高松診療所長
金子源吾

地域の皆様方には日頃より、飯田市立病院介護老人保健施設「ゆうゆう」に対しまして多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。新しい元号となるにあたり、ゆうゆうの果たすべき役割について考えてみました。介護保険法に定める介護老人保健施設の主な役割は、居宅における介護が困難になった高齢者に対して適切な介護を提供し、在宅復帰支援をすることです。この趣旨に則り「ゆうゆう」では、包括的ケアサービス、リハビリテーションや地域活動などを通じ、慢性疾患や認知症をはじめ、様々な障害のある施設利用者の方に対して症状の軽減・安定化を図り、在宅復帰が容易になるよう良質な介護サービスを提供してきました。

令和になっても引き続き、診療、看護、介護、リハビリテーション及び事務管理体制の更なる充実を図り、安全安心で質の高い介護サービスを提供していきたいと考えております。具体的には近い将来、現在の在宅強化型老健から超強化型老健に移行できるよう努力してまいります。また、地域における介護予防への支援を行うことも公の機関としての重要な役割の一つであることから、施策として実施を予定している短期集中型の通所リハビリテーション事業（通所型サービスC事業）を、モデル事業として実施すべく現在準備を進めております。これからも温かいご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



新たな「令和」の時代を迎えて
ゆうゆう事務長
中 良文

初夏の候、新たな「令和」の時代を迎えた今日この頃、当施設「飯田市立病院介護老人保健施設ゆうゆう」の施設利用者の方をはじめご家族の皆様方には、益々ご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。日頃は当施設の運営等に対しまして深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当施設ゆうゆうも、飯田市立病院の一機関として、市民の皆様方をはじめとする郡市民の皆様方に、より良い介護サービスを提供すべく職員一同日夜職務に精励いたしております。

更にここ数年は、基本方針の一つである「地域に開かれた施設」を推進すべく、地域にお住まいの皆様方への地域貢献活動の一環として、認知症カフェ「ゆうゆうカフェ」を毎月1回第四日曜日に開催し、地域の認知症の方やそのご家族の皆さんにご利用をいただいております。

また、地域の多くの皆さんに認知症をよりご理解いただき、地域在住の認知症の方をサポートしていただけるよう、「認知症サポーター養成講座」を年に数回、ゆうゆうにて開催いたしております。こちらも多くの地域の皆さんにご参加をいただいております。

「団塊の世代」の皆さんが後期高齢者となる2025年まであと6年余り。多くの高齢者の皆さんを地域社会で支えられる仕組みづくりが全国的に急務となっておりますが、ゆうゆうもその一翼を担うことができるよう、地域の皆さんと協働・連携を図る中で取り組みを進めてまいりますので、皆様方のご理解とご協力をよろしく願います。

2F お花見



平成最後の桜を見に近くの正命寺まで出かけました。今年の冬は暖かく、例年よりもかなり早く咲くのではないかと期待していましたが、4月に入る前に急に寒くなり、利用者様もいつ咲くのだろうと心待ちにしていました。

4月5日くらいから満開の桜を見に出かけました。順番を待っている間、利用者様からは早く見に行ってみたい、桜を見に行けるから楽しみだ、などの声が聞かれ、話に花が咲く場面も見られました。少し風が強く肌寒さも感じましたが、久しぶりに外の空気を思いつき吸いながら散歩ができました。ちょうど満開の桜と休日が重なり、大勢の方々が桜を見に来ていました。一緒に桜を見て言葉を交わす中で自然と笑顔になっていました。

お花見を楽しんだ後は食堂でお茶を飲みながら、美しい桜の話で盛り上がりました。



高陵中学校からご寄付を頂きました♪

この度高陵中学校よりCDラジカセを1台寄贈していただきました。早速CDラジカセが無かった2階Bチームの食堂へ配置し、利用者様のレクリエーションで使わせて頂いております。昔馴染みの歌やラジオ体操のCDをかけたっておりませう。

これからもりんごんの時期や運動会など、様々な行事や場面で活躍の機会があると思います。長く使えるよう大切に使用させていただきます。

また、高陵中学校からは何度もご寄付をいただいております。この場を借りてお礼を言わせていただきます。ありがとうございます。



デイ 五平餅

5月14日から16日の3日間、五平餅づくりを行いました。昨年度までと同様、上郷食生活改善推進員の方々にボランティアで来ていただきました。当日の利用者様にも一緒に五平餅づくりに参加していただきました。

女性の利用者様には、主に五平餅の成形や竹串に刺す作業をお手伝いしていただきました。「昔はお客さんが来る時に、よく家で五平餅をつくった。」とおっしゃる方が何人もいました。皆さん手慣れており、上手につくってくれました。炭火で焼く作業には、男性の利用者様が大活躍。火のそばで熱いなか、少し顔を赤くしながらも焦げないように一心不乱に五平餅をひっくり返してくれました。

多くの方々の協力によってつくられた五平餅を昼食にいただきました。今年は、職員も利用者様と一緒に食べる「共食」という形をとりました。炭火で焼いた五平餅は香ばしく、ふつくと焼き上がっていました。また、大勢でにぎやかに食べたため、より一層美味しく感じました。



3A 行事食 ちらし寿司



つくしがあちこちに出始めた4月の中旬に春を感じるちらし寿司作りを利用者様と行いました。今までそれぞれの家庭で何度となく作られてきたちらし寿司は、女性の利用者様には卵を混ぜて焼くのも、酢飯の味を見て作ることもお手の物。手際よく進められました。「男子厨房に入らず、で育ったからなあー」と言い、女性陣の作業を遠くから見ている男性利用者様。楽しそうに作っている様子を見て自分から「俺もやるかなー」と玉子焼きを作ってくださいました。寿司桶に色とりどりに飾り付けられたちらし寿司は、職員も一緒に美味しく頂きました。笑顔あふれる楽しいひと時でした。



3B 行事食 五平餅

「五平餅、だあくいスキ♡」○○○ルーペのCMよりも輝く笑顔！五平餅はお好きですか？の質問に「好き」ではなく「大好き！」と全員の方が答えられました。令和元年の十日目に五平餅を作りました。3Bでは、朝の5時から楽しみにされている方もおられ、「今日は五平餅だな。職員のフラダンスもあるの？」と。3日前の職員のフラダンスショーも20代に見える？！と好評でした。さて、五平餅はくるみ、ゴマの味噌をすり鉢で作り、ご飯を潰して、形にして、炭火で焼いて。4月の三色ぼたもち作りの時と同じく、平成から時代は変わっても変わらず皆様上手に、熱心に作られています。皆で五平餅を頂きながら、5月の誕生日のご利用者様をお祝いしました。



新任職員紹介



事務長補佐兼
管理係長
伊藤昌之

4月の人事異動により、下水道課から参りました管理係の伊藤昌之と申します。前の職場からガラッと仕事の内容が変わり、少し戸惑っていますが、一日でも早く『ゆうゆう』での仕事に慣れ、利用者様と明るく元気な挨拶を交わすことができればいいなと思っております。お世話になります。ご指導のほど、よろしくお願いたします。



介護員（デイ）
杉山まゆ美

4月1日からデイケアに異動になりました。杉山まゆ美と申します。十数年ぶりにゆうゆうに戻ってきました。久しぶりの介護現場で戸惑う事ばかりですが、一日でも早く仕事に慣れたいと思っております。気が付いたことがあります。そして、ご利用者様の皆様がいつまでもお元気で過ごせることができるようお手伝いできたらと思っております。どうぞよろしくお願いたします。



看護師（2F）
森下香代子

4月1日付けで市立病院からゆうゆう2階に配属になりました。十五年程前まで高松分院で働いていたので、この地に戻りとてもご縁を感じています。医療の現場から介護の現場となり戸惑いを感じていますが、早くゆうゆうという家の一員になれるよう頑張ります。宜しくお願いたします。



理学療法士（デイ）
川部裕二

4月からデイケアで仕事をしていきます川部裕二です。4月はただただ毎日が慌ただしく、早く利用者様の事を覚えようと必死でした。一月経ってようやく顔と名前が少しずつ一致するようになってきて、体の事を少し見れるようになってきたところです。これからも、通って来られる皆様とご家族が安全そして安心した生活ができるよう支援し、一緒に楽しく過ごしたいと思っております。よろしくお願致します。

編集後記

先日、明仁上皇陛下から今上天皇陛下への譲位がなされ、「平成」から「令和」へ元号が変わりました。上皇・上皇后両陛下が来飯されたのは平成二十八年十一月。つい先日の出来事のように思われます。ゆうゆうでは先日百五歳になられる利用者様を、所属チームの職員を中心にささやかながらお祝いをしました。「大正」「昭和」を超えて利用者様が生きてきた時代に思いを馳せつつ、一人ひとりに寄り添いながら心のこもった介護ができればと思います。（柴）

